

東南の風は少し肌寒かったけれど、良くなれた十二月十日(日)。ブラウンハイム集会所において自治会恒例のもちつき大会が行われました。

平成五年度の冷夏によるものも、二年ぐらいため、この日を楽しみにされたのです。でも十時ぐらいから少しでも十時ぐらいから少し子供も大人もお友だち

一緒に来てくださいました。この日を楽しむために、この日を楽しむにされましたが、つきたてのおもちは順調にさばけていきました。なるべく無駄なゴミを出さないようとのことで各自容器を持って頂きました。会場で食べた方より家に持ち帰られた方が多かったです。ですが、つきたてのおもちはいいかがでしたでしょ

うか。私もブラウンハイムに住んで約四年になりますが、初めてもちつき大会に参加させて頂きました。昭和三十年代、まだ若かった父と手拭いを姉さんか



## もちつき大会

# 赤 れ ん が

## 防災訓練

日時 二月四日(日)

場所 かぜ場公園

コンテナに鳥が!  
いる所を探して、  
ゴミを捨てよう。

一〇一	二〇五	横安斎
二〇一	二〇四	湯山一郎
三〇一	二〇二	渡辺哲士
三〇〇	二〇三	石田哲士
五〇二	二〇四	浜本郁子
五〇三	二〇五	紀昭
五〇四	二〇六	美穂子
五〇五	二〇七	福永淳一
五〇六	二〇八	黒川路子
五〇七	二〇九	井崎祐子
五〇八	二〇一〇	柴田朋美
五〇九	二〇一一	桐山幸一
五一〇	二〇一二	高比良珠史
五一	二〇一三	山野勝一
五一二	二〇一四	鷲田裕章
五一三	二〇一五	田中朋美
五一四	二〇一六	柴田和浩
五一五	二〇一七	西澤珠美
五一六	二〇一八	森友和子
五一七	二〇一九	大龜和子
五一八	二〇二〇	西澤和子
五一九	二〇二一	村友和子
五一〇	二〇二二	鈴木和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五三和子
五一一	二〇二三	五三和子
五一二	二〇二四	五三和子
五一三	二〇二五	五三和子
五一四	二〇二六	五三和子
五一五	二〇二七	五三和子
五一六	二〇二八	五三和子
五一七	二〇二九	五三和子
五一八	二〇二〇	五三和子
五一九	二〇二一	五三和子
五一〇	二〇二二	五

防

三

マグネチックード七・二〇  
最大震度七（激震）阪神・淡路の大地震です。  
震度六（烈震）でも多く人が立つことも動くことは出来ない地震の恐ろしさは、周知のことです。既に心構え・準備も出来ていると思うなかで蛇足の感もありますが、寄稿します。

『防災の基本・三原則』  
自分の身は、自分で守ることが基本です。  
そのため大地震の時、  
①まず頭部の保護を！  
身近な物で頭をおおう。  
②テープルの下などにもぐる。台所は転倒家具・落物が多く、出火しやすいのでなるべく避ける。  
③テーブルや机の下などにもぐったあとは、しっかりと脚をつかみ固定する。  
地震の揺れが大きい時は動けないが、最初の一分から二分の間です。  
①地震が初期微動の時、  
②地震の揺れがおさまった時、  
③出火した直後、初期の内なら自分で消すことは可能です。  
(天井に火が廻つたら、すぐに脱出する。)  
灾害を最小限に止めるためにも特に重要です。  
『防災の第一歩は家庭』  
家庭対策  
①家族がバラバラになつた時の連絡方法。

②避難場所は全員知っていますか。  
③幼児・老人・病人の保護救援について。

安全対策

①大地震の時、家具は凶器に変身する。  
②家具の転倒防止・安全対策を!  
③家具の上に物を置かないことが鉄則です。  
④特に寝室に留意。

大型家具などの配置を考える。

⑤出来れば安全な方向に頭を向けて寝るようにする

消化器

①消化器の使い方はマスターしていませんか。  
定期的に外観・腐食・老化などを確認し、粉末消化器の中身は五年を目安に取り替えることが望ましい。

②消化器の点検。

風呂水

③風呂水はいつももいっぱいにしておく。バケツの用意（断水時の水洗にも）をしておく。（バケツの用意（断水時の水洗にも）をしておく。バケツの用意（断水時の水洗にも）によって停電・大火災などにより、停電・避難する時、ブレーカーを落としておく（通電後、器具にスイッチが入っていて火災が発生した例がある。）

避難対策

①ベランダを物置替わりにしない。  
②避難ハッチ・仕切り板の前には絶対に物を置かない。

③地震の際、玄関・ベランダ側・室内の戸の開放。

避難時の持ち出しが

①建物の倒壊、又は恐れのある時、火災の延焼など緊急避難の際は、取り敢えず必要最小限の荷物にとどめる。

(2) 貴重品（現金・預金通帳印鑑など）、保険証（身分証明書、免許証、メモ帳、小型ラジオなど）、筆記用具、懐中電灯、近郊の地図。

(3) 救急医薬品、常備薬、絆創膏、ガーゼ、脱脂綿、包帯、三角巾、はさみ、ピンセット。

(4) 非常食。

(5) 食料は一～三日分位で、加熱不要ですぐに食べられる物。乾パン、スナック菓子、チョコレート、缶詰（辛くなく水煮程度の物がよい）。缶切りを忘れないで）など、普段食べ慣れている物を。

(6) 身の回りの日用品。

(7) 衣料品、その他。

① 衣類、防寒具、使い捨てカイロ、軍手、雨具、レジャーシート、ローツマッチ、ライター、ビール袋（大・小）など

② その他災害時利用できる物

③ アウトドア用品

④ 飲料水用ボリ容器

⑤ 缶入りの水、スポーツドリンク、ミネラルウォータ。

⑥ 眼鏡、入れ歯、補聴器、チリ紙、トイレットペーパー、紙おむつ、生理用品など。

⑦ 家庭で常備しておきたい物

① 水、ミネラルウォータ、飯盒、寝袋、テント、ヘッドライトなど。

② ガスコンロ。

③ コンロ、固体燃料、水筒

④ 家庭で常備しておきたい物

① 水、ミネラルウォータ、飯盒、寝袋、テント、ヘッドライトなど。

② ガスコンロ。

③ アウトドア用品

④ 飲料水用ボリ容器

⑤ 缶入りの水、スポーツドリンク、ミネラルウォータ。

⑥ 眼鏡、入れ歯、補聴器、チリ紙、トイレットペーパー、紙おむつ、生理用品など。

⑦ 衣料品、その他。

⑧ 衣類、防寒具、使い捨てカイロ、軍手、雨具、レジャーシート、ローツマッチ、ライター、ビール袋（大・小）など

⑨ その他災害時利用できる物

⑩ アウトドア用品

⑪ 飲料水用ボリ容器

⑫ ガスコンロ。

⑬ コンロ、固体燃料、水筒

② 食料、最低三日分。  
米、乾パン、チヨコレート、缶詰、インスタン食品など。

③ 燃料。  
携帯コンロ（ガスボンベの予備は多めに！）ガステーブル、電池の保管準備。以上の様なことは誰でも知っていることですが、阪神淡路大震災では、ライフルインが大打撃を受けその全面復旧には、

④ 照明。  
ローソク、マッチ、ライト、電池の保管準備。以上の様なことは誰でも知っていることですが、阪神淡路大震災では、ライフルインが大打撃を受けその全面復旧には、

水道：約三ヶ月  
電気：約一週間  
電話：約二週間  
ガス：ほぼ全面復旧迄に六ヶ月

かかりました。

転ばぬ先の杖。その為に何が必要かを改めて考えてみたいと思います。

防災訓練に参加しよう！

避難場所は？

プラウンハイム住民の避難場所は？

実態調査書

プラウンハイムの住民の皆様には、昨年末より実態調査書へのご記入とご提出をお願いしております。災害時の助け合いの時に役に立てる為のものであります。ご協力を宜しくお願ひ致します。

実態調査書

ブランハイム住民の避難場所は?

ガス：ほほ全面復旧迄六ヶ月かかりました。

電水道  
電話  
約  
一週間

携帯コンロ（ガスボン）の予備は多めに！）ガの復旧には、特に長い数が予測されます。

## 防災メモ

☆再び消化器について！

このような消化器は取り替えましょう。

- ①消化器にも寿命があります。容器の耐用年数は、おおむね八年です。
- ②キャップが腐食しているもの。
- ③消化器本体（特に底部）が腐食しているもの。
- ④ホースのひび割れが著しいもの。
- ⑤消化器の現行規格は、全て上抜き式安全栓タイプです。その他は全て失効消化器と考えて下さい。

① 知っていますか？

② 消化器本体の中には、液化炭酸ガスが充填された小型の容器と薬剤。（粉末）が入っています。

③ 安全ピンを抜き、レバーを強く握ると撃針が小型容器（液化炭酸ガス）の蓋に穴を開け液化炭酸ガスが高圧のガス体をなつて膨張し薬剤（粉末）が噴射されます。

④ 消化器本体上部の蓋の材質はアンチモニーです。噴射時の蓋にかかる圧力は一平方センチ当たり約13kgにもなります。また消化器本体にかかる圧力も一平方センチ当たり約7kg、底部はそれ以上と推測されます。

（ちなみに一平方センチ当たり7kgの圧力は小型自動車のタイヤの圧力の二倍に匹敵します。）

あなたの消化器をチェックしてみましょう。

①消化器の底部が鏽びていてませんか。  
②ノズル（放射口）部分のホースに亀裂や鏽がありますか。  
③レバー（消化器上部）部分が鏽びていませんか。  
④レバー部分の安全栓や封印は外れていますか。  
⑤製造年を知っていますか。  
⑥薬剤（粉末）は五年を目安に交換することを知っていますか。  
⑦消化器の使用方法を知っていますか。  
⑧家族が消化器の置き場所を知っていますか。  
☆法改正（平成四年実施）により十年（製造年から）を経過した消化器は薬剤の交換が出来なくなりました。気がついたときに消化器を良く振り薬剤（粉末）が固まらないよう点検します。